

ビジネス系専門書用語三二辞典（略語編）

近年ビジネス書や専門書において、多数の略語が存在します。そこで、よくニュースで耳にする用語から、やや難解な用語までまとめてご紹介いたします。ジャンル分けにお困りの際にご活用ください。

BCP ▶ 経営(リスクマネジメント)の棚

Business Continuity Planの略、事業継続計画の意。例えば現在、コロナ禍のようなパンデミック時の対応策が多くの業界で注目されてきていることから、今後のテーマとなることが予想されます。

関連書籍：『BCPの見直し・訓練・展開がわかる本』 『中小企業と小規模事業者のBCP導入マニュアル』

CVC ▶ 経営(経営戦略)の棚

Corporate Venture Capitalの略。自社の事業内容と関連性のある未上場のベンチャー企業に対して、出資や支援を行う組織のこと。コロナ禍により新たなサービスを生む企業が増加することから、そこに投資して支援するCVCも注目を集めることとなります。

関連書籍：『実践CVC』 『実装CVC』

ERM ▶ 金融または経営(リスクマネジメント)の棚

Enterprise Risk Managementの略、全社的リスクマネジメントの意。名前の通り、リスクマネジメント活動に関する全社的な仕組みやプロセスのこと。

関連書籍：『基礎から理解するERM』 『ERMは進化する』

ETF ▶ 金融の棚

Exchange Traded Fundsの略、上場投資信託の意。昨今、日本銀行がETF購入につき、その株式保有数が日本最大となり話題となっています。

関連書籍：『日銀ETF問題』

PPA ▶ 会計の棚

Purchase Price Allocationの略。M&Aの際に、対象となる企業または事業に属する個々の資産等に価値評価を行い、個々の取得原価を決定する手続きのこと。企業結合の会計取引を財務諸表に適切に反映させることを目的としているので、正確には会計の棚となります。

関連書籍：『M&AにおけるPPA（取得原価配分）の実務』

PPP/PFI ▶ 経済の棚

PPP:Public Private Partnership、PFI:Private Finance Initiativeの略。公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームをPPPといい、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという手法をPFIといいます。

関連書籍：『PPP/PFI実践の手引き』 『自治体担当者のためのPFI実践ガイドブック』